

# モニターレポート（11月報告）

## 【報告内容①】

寒い日が続くようになり、冬が近づいてきました。飯豊連山に冠雪が見られ、川面には水鳥の浮遊する姿が多く見られます。

車で堤防沿いを走っていると、ごみのポイ捨ても少ないように感じました。

## 【事務所からのコメント】

ゴミの不法投棄については、高水敷などでは依然多く確認されており、例年と比較しても減っていない状況です。

近年、不法投棄が多く確認されている場所や、その場所への侵入路などで看板等がない、あるいは少ない場所に、啓発看板の設置を予定しております。

## 【報告内容②】

泰平橋の土台部分の工事の為か、「一部立入禁止」の看板がありました。サビ、劣化による補修でしょうか。それとも周期ごとの補修が定められているのでしょうか。

先日東北地方で大きな地震がありました。その際、川はどういう状態になるのでしょうか。

## 【事務所からのコメント】

「泰平橋」の工事ですが、かなり古い橋梁ということもありますが、経年的な劣化に対する補修と説明を受けております。

一般的には、おおむねの周期で補修を行うと認識していますが、その橋梁のおかれている環境によっても異なると思われます。例えば、海岸部に位置し海水の塩分の飛沫がある橋梁や、凍結防止剤を散布する橋梁などは補修間隔が短くなるようです。

また、地震発生時の川の状態については、2つの変化を起こす可能性があります。

①地震により堤防や水門等の施設に変状が生じる可能性。特に堤防については、新潟地域の堤防下の地盤は砂となっていることが多く、地震の揺れにより、地盤が液体のようになり形状が保てなくなる、液状化現象が起こり、堤防自体も沈下や亀裂を生じる、というものです。

②地震による津波の遡上の可能性。津波は沿岸部だけではなく、河川を遡上してきますので、上流部でも水位の上昇が起こる可能性があります。津波注意報や警報が発令されている状況では、河川へ近寄ることも危険となりますので、ご注意ください。

# モニターレポート（11月報告）

## 【報告内容③】

水辺の楽校附近を巡回しました。日頃の使用状況が分かりませんが、「あぶない」の看板も分かりやすく、立派な施設であったと思われます。しかし現状をみると、近隣の学校が廃校になるなど利用者が減っているのもあり、寂しいような、勿体ない気持ちになりました。

右岸距離標258～264付近まで設置してあるテトラポットは、海岸などで見慣れた柔らかい形とは異なり、角形で重厚な印象でした。

## 【事務所からのコメント】

水辺の楽校ですが、大和小学校が閉校になり、現在の利用としては、4月に赤坂小学校生徒による「鮭の稚魚放流」が行われていますが、同校が来年度より保田小学校に統合されるため、今年が最後の取り組みとなっています。寂しい限りですが、占用主体の阿賀野市の今後の取り組みに期待したいと思います。

報告にありましたテトラポットですが、「テトラポット」は製品名であり、40種類ほどあります。このようなブロックを総称して「異形ブロック」と呼んでいます。報告にあった異形ブロックは護岸前面の流速を弱めるために設置しており、急流になればなるほど重い重量のものが設置されています。

## 【報告内容④】

三川地区の方から、「モクズガニ」が三川付近で取れるという話を聞きました。最初は一年中川の中で生活し、成長する生物だと思っていました。しかし調べてみると、幼い時は高い塩分濃度が必要なので海で生活し、成長すると川の上流に向かって移動するそうです。

阿賀野川下流から三川はまでは40～50kmくらいあるはずなのに、こんなに長い距離をのぼってくることに驚きました。

これも、途中で餌となる生物がたくさん生息している阿賀野川だからこそかもしれません。

## 【事務所からのコメント】

「モクズガニ」は、事務所が管理している河口から中流域でよく見かける、という印象があったので、上流域の阿賀町三川地区にまでいるとは知りませんでした。

また川の生物などにまつわるお話がありましたら、ぜひご報告いただければと思います。